

《資料館便り》

平成 26 (2014) 年
10月号



石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49 (1974) 年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
歴史民俗資料館長 三森孝則
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

企画展「あぶくま高地の緑柱石」開催中！



魅惑の「緑柱石」が大集合！

日本三大ペグマタイト鉱物産地石川町。その鉱物中、最も美しいとされるのが「緑柱石」です。

本企画展では、収集家垂涎の標本を多数展示しました。魅惑の「緑柱石」を是非ご堪能ください。今回の展示品には、石川町内の方々が秘蔵されていた標本が多く、正に「本邦初公開」の逸品ぞろいです。

於 石川町立歴史民俗資料館

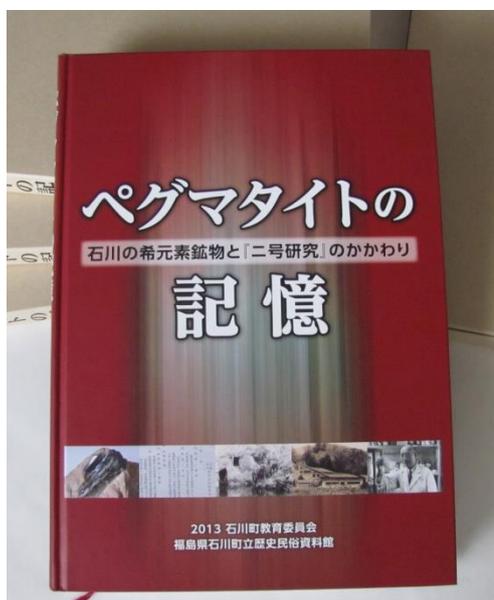
～11月30日(日)月曜休館、祝日の場合翌日休館
入場無料です。

※入館は15:30までをお願いします。



↑ 石川町産
← 緑柱石(アゲアマリソ)

福島民報出版文化賞特別賞を受賞！



資料館便り 6月号でご紹介した、石川町教育委員会発行・当歴史民俗資料館編集の『ペグマタイトの記憶』が、第37回福島民報出版文化賞特別賞を受賞しました。明治時代からの石川地方の鉱山史、戦時中の「二号研究」とのかかわりを中心にした、石川の鉱物をめぐる人々のさまざまな活動を当時の文書や記録、日記や写真をもとに著した内容が高く評価されました。

受賞したこともあり、各方面からの反響が大きく、全国から問い合わせが続いています。残部が少なくなりましたが公民館と資料館で販売しています。【販価：3000円 (税込)】

購入を希望される方はお早めにお求めください。町民の皆さまには、これまであまり知られていない町の歴史をぜひご覧いただきたいと思っております。

いしかわの「お宝」 2

「資料館便り」では、町に伝えられてきた貴重な文化財、鉱物や動植物などの天然記念物を紹介します。

福島県指定文化財

いしかわだいぞういんもんじょ 「石川大蔵院文書」(資料館蔵)



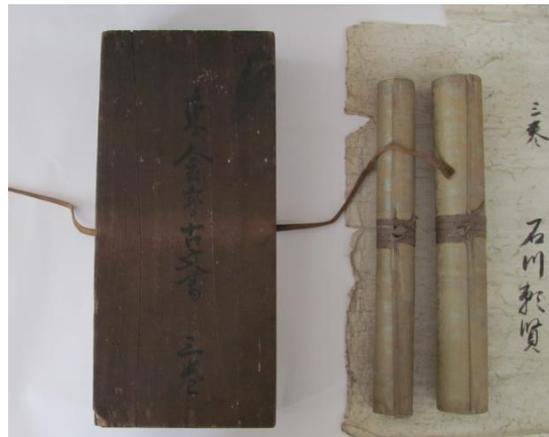
↑ 明応8年(1499)の文書

○石川大蔵院文書は平成7年3月に福島県重要文化財に指定されました。本来は3巻20通でしたが、現在は室町時代中期(1400年代中頃)から江戸時代初期(1600年代中頃)までの文書、2巻14通が伝えられています。

大蔵院は石川地方を代表する修験(いわゆる山伏を思い出していただければと思います)です。時代をさかのぼる程、信仰の力が大きく人々の生活にかかわりを持っていました。大蔵院は領主である石川氏の熊野参詣(紀伊半島)の先達をつとめ、石川地方を代表する宗教上の権力者でした。石川大蔵院文書は、石川のみならず、県内の歴史を考える上で重要な文書群です。



↑ 東京大学史料編纂所による、「石川大蔵院文書」等の写真撮影(8月)



↑ 大蔵院文書二巻とその文箱

期待を担って！鉱物保護収集委員会再スタート！



↑ 田口教育長(左)より委嘱状交付

○第二次石川町鉱物保護収集委員会が7月30日に発足しました。「鉱物の町石川」の鉱物について、その収集、保護・研究・普及を行い、町に対して提言をする委員会です。さまざまな事情で、活動が休止していましたが、今回、新たなメンバー(6名)で再スタートとなりました。委員の方々の互選により、飯島裕氏が委員長、鈴木正博氏が副委員長に決まりました。西牧ひとみ氏、小針良仁氏、鹿岡国俊氏、根本靖彦氏が委員です。

資料館と教委生涯学習係は事務局として活動します。